１．箕作小学校　学校経営管理全体計画（構想）

平成２７年度（２０１５年度）

【学校教育推進の基本】（滋賀県）
未来を拓く心豊かでたくましい人づくり
～みんなで支えあい自らを高める教育の推進～

①確かな学力を育む教育の充実
②豊かな心を育む教育の推進
③健やかな体を育む教育の推進
④滋賀の自然や地域と共生する力を育む教育の推進
⑤信頼される学校づくりの推進
⑥教師力を高める教職員研修

【東近江市がめざす子どもの姿】

「三方よし」が実行できる子
○自分よし（自己実現）
○相手よし（思いやり）
○社会よし（社会貢献）

＊自分だけでなく、常に相手のことを考え、さらに社会全体のことを考え行動できる子ども

校訓：成人の美　（人の美を成す）　人の美点、長所を見出して、それを伸ばし大成させる

学校教育目標

夢を持ち、仲間とともに　たくましく生きる子どもを育てる

- **よく考える子**：自ら学び、よくみつめ深く考える子
- **思いやる子**：人・物・自然に優しい子
- **きたえる子**：すすんで心や体をきたえる子

めざす学校像

つくろうよ！　学びのふるさと　みんなの学校！

合言葉　**ニッコリ、ハッキリ、キッチリな箕作っ子!**

☆いのち・人権を大切にする学校
☆学び合いみんなで高め合う学校
☆思いやりのある温かい学校
☆安全・安心の保障された学校
☆人や自然とのふれあいを大切にする学校
☆地域とともに歩む学校

子どもの様子

（のばしたいところ）
・素直で明るく活動的である。
・与えられた課題については、全力で取り組む力がある。
（指導したいところ）
・自分の思いや考えを相手に伝えることができるようにする。
・自分で判断し、行動できるようにする。
・善悪の判断ができるようにする。

保護者、教師、地域の人々の願い

○確かな学力を持った子どもの育成
○心豊かで、たくましい元気な子どもの育成
○心身ともに健康で明るく、いのちを大切にし、思いやりのある子どもの育成
○よく考え、正しく判断し、ねばり強く実践する子どもの育成

新学習指導要領の趣旨を生かした創意ある教育課程の編成

重点課題　自己肯定感を高め、一人ひとりの違いを認め合い、つながり合える児童の育成
～かかわり合い・学び合いを大切にした教育活動の展開～

学校・家庭・地域社会との連携を重視した教育の推進

【めざす教職員像】

○箕作小の教職員としての使命と責任を自覚し、教育に当たる。
○箕作小のすべての子どもを、すべての教職員で育てるを原則に、組織体として指導に当たる。
○授業改善に前向きに取り組み、わかる授業づくりに励む。
○授業力、教育相談力、学級経営力等を磨くための研修と、授業公開の機会を積極的に持ち、互いに刺激し合い資質の向上に努める。
○児童理解に努め、個に応じた子どもに寄り添った指導に努める。
○笑顔と元気を基本に、子ども、保護者、地域とコミュニケーションを持つ。
○伝統を尊重しながら、新しい事へのチャレンジ魂を持ち、実行力、実践力を高める。
○子どもの生き方のモデルとして、子ども、保護者、地域から信頼され、敬愛されるように自らの生き方を磨くことに努める。

【確かな学び】を育てる

○個々の子どもの確かな学びと、仲間との学び合いによる高まりを大切にした授業づくりを進める。
○基礎、基本的な学力の定着を図るために繰り返し指導をすることや探求心のもと課題を解決する能力を育むために体験を重視した指導を充実させる。
○教育活動全体で「伝え合う力」を育てると共に、言語環境を整え、言語活動の充実を図る。
○読書活動を家庭と地域との連携のもとで充実させると共に、図書館を活用し、本を調べ資料を作成するなどの情報活用能力を育む。
○児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行う特別支援教育体制の整備、充実を図る。
○家庭との連絡を図りながら、家庭における学習の充実と習慣化を図る。

【豊かな心】を育てる

○あいさつ運動を展開し、学校と家庭・地域が連携し、心豊かな道徳性、社会性の涵養を図る。
○基本的な生活習慣や生活ルールを身につけ、自他の生命を尊重し、健康で安全な生活を営むことができる児童の育成に努める。
○自然や人とのふれあいを大切にし、よりよい環境を創造する環境教育、福祉・ボランティア活動の推進を図る。
○交流教育を通して、障害者理解を深め、共に学び合う心豊かな児童の育成に努める。
○我が国のみならず、外国の文化や伝統を尊重し、ふれあう活動を通じて、外国人と協調する態度の育成努める。
○道徳教育を学校全体で推進し、道徳の時間においては、道徳的価値の自覚が一層図れるよう体験活動等を生かした多様な取り組みの工夫や魅力的な教材の開発、活用に努める。

【温かな仲間】を育てる

○児童一人ひとりが、それぞれの学級や学年の中で、自己存在感や成就感を味わえるような学級づくり、学年づくりに努める。
○児童一人ひとりの「いのち」やよさを互いが認め合う温かい人間関係の育成を図る。
○児童会の諸活動や縦割り活動を通して、活動の喜びや成就感を体得させ、連帯感と自主自律の気風を育成する。
○創意ある学級や学年経営に努め、児童の主体的な取り組みや仲間づくりを推進する。
○一人ひとりの児童に、あらゆる学校生活の場で自己存在感を感じさせると共に、学級や学校の一員として自覚、規範意識の高揚と共感的人間関係の育成に努める。

【たくましい心・体】を育てる

○みんなで作り上げる喜びを実感する行事などを通して、仲間とともに高まる子どもの育成に努める。
○自らの目標をめざして、粘り強く取り組み、感動や充実感が実感できる支援に努める。
○一人ひとりの運動能力を確かに育てる体育授業の充実に努める。
○心身ともに健康で安全な生活を送るために必要な資質や習慣の育成に努める。
○運動やスポーツを豊かに実践していくことで、自ら進んで運動に親しむ資質や能力を養い、体力の向上を図る。
○正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食育を通して自ら健康管理できる自己管理能力の育成に努める。

【地域・家庭と共に歩む】

○保護者や地域住民などで構成する学校関係者評価委員会を開催し、学校評価に生かす。
○学校の教育方針や教育活動等を家庭や地域に発信する。
○地域の環境を積極的に取り入れ、新しい学校の伝統や校風を培い、特色ある学校づくりに努める。
○家庭や保護者との様々な関わりを通して、子どもに関する情報提供、子育てについての学習や懇談の機会や場を作り、親同士の交流や学び合いなど、家庭の教育力向上に努める。
○地域の方々の支援をもとに、子どもの安全確保に努める。

校種間連携・交流
・保幼中との連携
・聖徳中学校区研究会

関係機関との連携・協力
・発達支援センター
・こども支援センターひばり
・児童生徒成長支援室

いのち・人権を大切にする教育の推進

○わかる授業、魅力ある授業に努め、授業を通じて「自己存在感」「共感的人間関係」「自己決定の力」をはぐくむ。
○きめ細かな児童理解に基づいた指導により、よりよく人とかかわっていく力の育成に努める。
○一人ひとりの良さや可能性に目を向け、互いによりよく理解し、支え合える集団を育成する。
○障がいの有無や個々の違いを認識しつつ、全ての人が生き生きと活躍できる共生社会の基礎づくりを図る。

安全・安心な環境づくり

○児童自らが危険を予測し、回避する能力を身につけるため、実践的な安全教育を推進する。
○教職員一人ひとりが、児童の安全確保を第一に考え、危機管理マニュアルの徹底および定期的な点検、地震や火災・不審者等に備えた防災教育や危機管理についての研修や訓練等を実施し、危機管理意識の高揚に努める。
○安全管理の徹底・安全点検の実施・危機管理マニュアルの見直し・学校連絡用メール配信の活用
○学校・保護者・地域、その他関係機関と連携協力した地域ぐるみの学校安全体制の整備に努める。

地域、ＰＴＡとの連携･協働
・ＰＴＡとの協働
・コミュニティセンターとの連携
・学校応援団
　学習支援ボランティア
　環境整備ボランティア
　安全安心ボランティア